

## GSワンダーランド (2008)

メディア 映画

ジャンル 青春 音楽 コメディ

製作国 日本

色彩 Color

時間 100分

初公開日 2008/11/15

公開情報 デスペラード

## 【キャッチコピー】

世界が僕を待っていた。

## 【解説】

GS（グループ・サウンズ）ブームの狂騒が渦巻く1968年を舞台に、ブームに乗ってひと山当てようと画策する大人たちが楽くう音楽業界に、純粋な夢を抱いて飛び込んだ4人の若者の青春を描く音楽コメディ。主演は栗山千明、石田卓也、水嶋ヒロ、浅利陽介、共演に温水洋一。監督は「東京ハレンチ天国 さよならのブルース」「脱皮ワイフ」の本田隆一。

日本中をGSブームが席卷していた1968年。演歌専門のフィンレコーズでもGS専門レーベルを立ち上げることになり、弱小プロダクションを構える梶井が新人バンドの発掘を任される。そんな梶井の網に引っかかったのが“ザ・ダイヤモンド”を結成したばかりのマサオ、シュン、ケンタの3人。さらに、フィンレコーズが用意したデビュー曲にはキーボードが必要と分かると、梶井は北海道から家出同然で上京してきた歌手志望のミクを無理やり男装させてメンバーに加えることに。こうして急ごしらえで集められた4人は、やがて白タイツにマッシュルームカットのフリフリ王子様スタイルで、その名も“ザ・タイツメン”として売り出されるハメになるのだが…。

## 【クレジット】

監督	本田隆一
製作	杉原晃史 熊澤芳紀 石田雄治 森下敏治
製作総指揮	吉田尚剛
プロデューサー	永森裕二 永井正敏 曾我勉
脚本	本田隆一 永森裕二
撮影	小林元
美術	丸尾知行
音楽	サリー久保田
音楽プロデューサー	高護
主題歌	ザ・タイツメン
照明	堀直之

『海岸  
線のホ  
テル』

録音  
装飾  
出演

伊藤裕規			
吉村昌悟			
栗山千明			大野ミク (ザ・タイツメン)
石田卓也			紀川マサオ (ザ・タイツメン)
水嶋ヒロ			正巳屋シュン (ザ・タイツメン)
浅利陽介			柏原ケンタ (ザ・タイツメン)
温水洋一			大河内宗雄
三倉茉奈			石貫妙子
三倉佳奈			石貫明美
ケンドーコバヤシ	Kendo Kobayashi		熊田恭一
森田順平			
山崎一			
片桐仁			
佐藤二郎			
湯原昌幸			
大堀こういち			
緋田康人			
村松利史			
大杉漣			鎌田兼一
高岡蒼甫			長谷川タツオ
武田真治	Shinji Takeda		梶井良介
杉本哲太	Tetta Sugimoto		佐々木智典
岸部一徳			松田重吉